

平成二十三年度

わが家の
すこやか日記



泣いたり笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。家庭教育啓発冊子「わが家のすこやか日記」は、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、お寄せいただいた作品のうち、三十二作品を冊子にまとめたものです。

子どもから高齢者の皆様よりお寄せいただいた作品には、家族への愛情や感謝、あたたかい心と心の通い合い、それぞれの家庭のルールなど、すばらしい家族模様が描かれています。

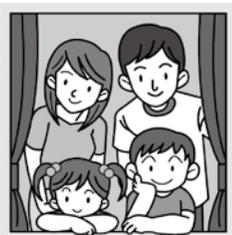
この冊子を通して、子育て中の方はもちろん、多くの方に、子育てのすばらしさや、家族の絆の大切さなどをお届けできたらと願っています。

まずは、各作品をじっくりと味わっていただき、それぞれの家族の様子や思いを心で感じ取っていただきたいと思います。

そして、御家族や御友人と、感想を語り合ってください、そこから、それぞれの御家庭のアイデアあふれる新たな取組が始まることを期待しております。

★こんな活用方法は いかがでしょうか。

- わが家のルール等について、親子で語り合う際の話題として
- 子育て広場等の親子が集まる場で、子育てについて語り合う際の資料として
- PTA主催の懇談会など、保護者同士が家庭教育について語り合う場での資料として
- 道徳・家庭科等の授業などで活用する資料として



● 幼児児童生徒の部

- ★ (1) だいすき「パパのだっこねんね」
第二こぐら保育園 善木玲偉さん 5
- ★ (2) おならで笑顔
矢掛町立矢掛小学校 室萌花さん 6
- ★ (3) ちびっこギャングがやって来た
岡山市立竜之口小学校 原健人さん 7
- ★ (4) 家族の団らん！
岡山市立竜之口小学校 行正衣里さん 8
- ★ (5) 家のルール
岡山市立吉備中学校 浦島綾乃さん 9
- ★ (6) 言えた
県立井原高等学校 花岡夕貴さん 10
- ★ (7) 三人のお母さん
県立岡山南高等学校 平田薫さん 11
- ★ (8) ちよっと格好良かったお父さん
県立岡山南高等学校 角野はるかさん 12
- ★ (9) 自分のファンからファンレター
県立岡山南高等学校 青木香織さん 13
- (10) おやすみなさい
井原市立高屋小学校 佐藤加野さん 14
- (11) わたしのおうち
西栗倉村立西栗倉小学校 横山日菜さん 14
- (12) ぼくが本を読むとき
総社市立総社北小学校 林凌永さん 15
- (13) お母さんと私のふとん
勝央町立勝岡田小学校 岩谷安佳里さん 15
- (14) ふとんしき選手けん
真庭市立米来小学校 間所颯さん 16
- (15) 愛情あふれる失敗談
岡山市立幸島小学校 河村悠二さん 16
- (16) じいちゃんがのこした牛
鏡野町立富小学校 難波幸永さん 17
- (17) むかしのあそび
井原市立高屋小学校 佐藤壮峻さん 18
- (18) みんなとタッチ！中村家
岡山市立竜之口小学校 中村優那さん 18
- (19) ねない子だれだ
総社市立清音小学校 横溝秀明さん 19

★は、代表として選ばれた優秀作品です。
ページ

(20)	早く家に帰りたい	鏡野町立南小学校	第六学年	高橋 虎太郎さん	19
(21)	「ありがとう。」	岡山市立芥子山小学校	第六学年	藤原 里美さん	20
(22)	わが家のお母さん	岡山市立旭東中学校	第一学年	福森 琢未さん	20
(23)	わが家の家族会議	里庄町立里庄中学校	第一学年	福本 弥央さん	21
(24)	父の宝物	県立岡山南高等学校	第三学年	横田 早紀さん	21
(25)	長女の受験	県立岡山南高等学校	第三学年	大森 ありすさん	22
(26)	いちごチョコレート	県立岡山南高等学校	第三学年	大深 智恵さん	22
(27)	自分のことより	県立岡山南高等学校	第三学年	藤原 有紀さん	23
(28)	今が一番幸せ	県立井原高等学校	第三学年	佐藤 静穂さん	23

● 一般の部

(29)	子ども叱るな来た道じゃ	岡山市	田中 達哉さん	25
(30)	表彰状	岡山市	片岡 淳子さん	26
(31)	おばあちゃん、ありがとう。	倉敷市	中岡 育恵さん	26
(32)	魔法の手	真庭市	須田 淳子さん	27

● 特別賞

優秀学校賞	県立井原高等学校家政科	29
学校賞	県立岡山南高等学校	
学校賞	西粟倉村立西粟倉小学校	
学校賞	岡山市立竜之口小学校	



幼児児童生徒の部

◆だっこでくものつえにいらるで賞◆

だいすき「パパのだっこねんね」

パパは、ぼくがねむれないときはいつもだっこをしてくれとおさをおさんぽしてくれれます。

ぼくは、くものつえにいらるやうなきもちになつてすくねてしまひます。

「いりかげんにあまやかすのやめられえ。」

「あかちゃんじゃねえんじゃけん。おかしいがん。」

とママは、パパをおこります。

けど、パパはかくれながらしてくれれます。

「パパ、ずうつとだっこねんねしてね。」



第二さくら保育園 さくら組（年長） 善木 玲偉さん

審査員より

眠れない日でも、すぐに寝てしまふパパの抱っこ。きつとパパの大きさをやめくもりを感じ、安心して眠れるのでしょね。親子のスキンシップ、大切ですね。

◆おならで笑顔になるで賞◆

おならで笑顔



わたしの家では、おならをしたら、かならず「しつれいしました。」「と言っちゃくそくになっています。おならをがまんすると、体によくないので、がまんしないことになっています。わたしの家族は、お父さん、お母さん、四才の弟と三ヶ月の妹とわたしの五人です。中でも、お父さんのおならがとく大です。でも、「しつれいしました。」「のひとつでみんなにっこり。そして、家族にくわったばかりの妹、まだまだ小さな赤ちゃんだけど、お父さんに負けないくらいのおおならをします。まだ、「しつれいしました。」「と言えないけれど、家族中がみんな笑顔になります。

〔補足説明〕 だけとお母さんのおならはあまりきいたことがありません。

矢掛町立矢掛小学校 第二学年 室 萌花さん

審査員より

家族みんなの笑い声が聞こえてくるような楽しいエピソードです。小さな妹さんが「しつれいしました。」「と言っ日が来るのが楽しみですね。

◆かわいいギャングにメロメロ賞◆

ちびっこギャングがやって来た



ぼくの妹は、赤ちゃんの時、ぼくがだっこすると、あつたかくてとても気持ちよかった。にっこり笑うとかわいかった。最初にしゃべった言葉は、「けん」と…ぼくの名前だ。

今は、三才。あつたつうまに、ちびっこギャングになった。何でもさわるし、大事な物でもこわす。そして、ぼくの後ろにいつて来て、マネばかりする。ぼくが、学校から帰って来ると、

「宿題やった？」

と聞く。まるでちびっこ母さんだ。でも

「上手にできしすぞうね。」

と言う。ぼくは、ちよつとうれし。妹が笑つと、父さんも母さんもぼくも笑つ。だからうれし。

岡山市立竜之口小学校 第五学年 原 健人さん

審査員より

妹さんが最初にしゃべった言葉がお兄ちゃんの名前なんて、とってもつらやましいです。妹の成長を笑顔で見守る温かい家族の様子がよく伝わってきますね。

◆家族でおしゃべり大好き賞◆

家族の団らん！

私の家族は、お父さん、お母さん、弟、妹、私の五人です。お父さんも、お母さんも、仕事をしているので、いつも帰るのがおそくなります。でも、ゆいっつ、私が楽しみなのは、金曜日に、家族でご飯を食べたあと、お茶を飲みながら、今週あった事を話し合うことです。学校から帰っても、だれもいなくて、毎日「さみしいなー。」と思うけど、この時だけは、家族みんないっしょにすごせる時間なので、私は大好きです。

岡山市立竜之口小学校 第五学年 行正 衣里さん

審査員より

食卓を囲んでの家族団らん。家族の心のエネルギーが充電できる大切な時間となっているんですね。家族のコミュニケーション、これからも大切にしたいですね。



◆ルールのおかげで賞◆

家のルール



私の家では、家事を担当制にしています。当番制にしているのは、お風呂そうじ、しよつき洗
い、せんたくものなまひね。

お風呂そうじなどは当番制にしているけど、せんたくものだけはちがいます。

私の家では、一番さいごにお風呂に入った人が、せんたくものをほしたり、たたんだりします。
このルールになってからはみんな早くお風呂に入ります。このルールのおかげで、お母さんも
ちよつとは早く寝れるようになりました。だからこれからもつづけていきたいです。

岡山市立吉備中学校 第一学年 浦島 綾乃さん

審査員より

毎日の家事に当番制、というルールと、せんたくものに浦島家ならではのルールを加えているところがいいですね。
お母様も、早く寝られるようになったんですね。

◆**ありがとうが伝わったで賞**◆

言えた



私はいつの間にか父と話ができなくなりました。恥ずかしくて「おかえり」「や」「ありがとう」といふ些細なこととも言えなくなりました。恥ずかしいといふのが怖かったからかも。

最近、父が優しくなりました。いきなりお守りとかくれた。接点がなくなりつつある私は嬉しかった。ある雨の日、学校へ送り迎えしてくれた。とても珍しくて、嬉しかった。

そして、ついに言えた。

「ありがとう。」「ご。

何年ぶりだろう。

その進歩がうれしかった。

県立井原高等学校 第二学年 花岡 夕貴さん

審査員より

親子の関係の中で、互いに努力が必要な時があるのかも知れません。その時を乗りこえれば、また、親子の絆が強くなる…そう、感じさせてくれるエピソードですね。

◆優しい三人のお母さん賞◆

三人のお母さん



私のお母さんは、四人兄妹です。私のお母さんは、三年前に亡くなりました。家事をやったり、大変なことも沢山あります。

「今日学校でこんなことがあってねー！」

と話すこともできなくなりました。

でも、伯父さんや叔母さんが実の娘のように接してくれます。

「何かあったら遠慮なく頼りやあええ。子供は大人に甘えときゃーええんよ。」
と語ってくれます。

店員さんに

「お母さん、娘さんとお買い物ですか？」

と言われたり

「うちの娘、かわいいでしょ。」

と語ってくれました。周りの人に話す時も

「うちの子が…。」

と話しているようです。私には、優しい三人のお母さんがいます。

〔補足説明〕

お母さんの兄妹は、兄、母、妹、妹です。三人のお母さんとは、伯父さんと叔母さん達のことです。伯父さんは男ですが、「母親のような存在」「母親代わり」という意味のお母さんです。

県立岡山南高等学校 第二学年 平田 薫さん

審査員より

大変なことがたくさんあっても、毎日、精一杯がんばっている薫さんなのでしょう。三人のお母さんの愛情に包まれて、時には甘えながら人生を歩んで下さいね。

◆お父さん格好良かったで賞◆

ちよつと格好良かったお父さん



私のお父さんは、無愛想で、気分屋で、口下手で、怒ると怖いです。でも、そんなお父さんが、一人で私の高校の入学式に来てくれました。クラスの全員が女子の科です。保護者もお母さんばかりです。それでも、なぜか私の入学式に来てくれました。ビックリしたけど、スーツで堂々と教室の後ろに立つお父さんは、ちよつと格好良かったです。

〔補足説明〕 私は、男と女の双子で、入学式の日ががぶっていました。当然、お母さんが私の入学式へ、お父さんが弟の入学式へ行くと思っていました。お母さんの中に一人、恥ずかしかったと思います。それでも私の晴れ舞台を見に来てくれたことが、少し恥ずかしかったけど嬉しかったです。

県立岡山南高等学校 第二学年 角野 はるかさん

審査員より

お父さんから娘への愛情表現は、娘が成長するにつれて、難しくなってくるのかもしれませんが、お父さんが、言葉でなく、姿で伝えた愛情。素敵なエピソードですね。

◆感謝のファンレター賞◆

自分のファンからファンレター



私の生活は陸上中心。試合が近いとピリピリしたり、食事について文句を言ったりする。試合は毎回かかさず、お父さんもお母さんも見に来てくれ、私が自分の走りを見直せるように、すべてのレースをビデオに残してくれる。

優勝した時や自己ベストが出た時、大学生と決勝で競えた時など、嬉しい時はいつもほめてくれ、お祝いしてくれた。なのに、少しでも自分の走りについて指摘されるとすぐ怒ってしまう。ある大切な試合で、私はレース途中でけがをしてしまった。見に来てくれてた両親にたくさん迷惑をかけてしまった。次の日の試合で手渡された弁当の中に一通の手紙が入っていた。両親と妹から、私の頑張りや試合応援の楽しさなど、私に対して感謝の気持ちが書かれてあった。支えてくれている家族に感謝するのは私の方なのに……。涙が止まらなかった。「いつまでも香織のファンより」初めてのファンレターだった！

〔補足説明〕

私が夢中になる陸上に、たくさん寄りまわされていたはずの両親。なのに、「親として楽しませてもらった」「香織の陸上は最高の思い出となった」など、私に伝えてくれた。改めて支えてくれている人に感謝ができた。最初で最後のファンレター。私の宝物となりました。

県立岡山南高等学校 第三学年 青木 香織さん

審査員より

香織さんと一緒に、家族の皆さんも、夢や感動を共有してこられたことでしょう。家族は、互いの応援団であり続けたい、と感じられるエピソードですね。

おやすみなさん

わたしは、四人きょうだいです。みんな、おかあさんとなりでねたいのですが、二さいのいもうとが、いつもとなり。ほんたいがわは、わたしのばしよです。おにいちゃん、おねえちゃん、は、「いいなあ、いつもとなりで」とおこります。おかあさんは、そんなふたりとあくしゅをして「おやすみ」とうそまわす。

わたしは、おかあさんのとなりで、こをうならで、「おやすみなさん」とうそねむります。

〔補足説明〕 我が家のルールでは、いつもはちいさい子が母のとなりです。でも、別の場所に泊まった時は、いつもとなりにならない兄と姉が交代でねてくれます。手をぎゅーっとにぎってきた時は、いくつになっても甘えたいんだな—と黙って「おやすみ」と「お返す」をします。

井原市立高屋小学校 第一学年 佐藤 加野さん

わたしのおうち

わたしのおうちでは、ねるまえに、たのしかったことをじゅんばんに、いつています。そのひにちで、一ばんたのしかったことを、かぞくでひとりずついつていきます。はっぴょうするとき、たのしいことをおもいだすので、たのしいきもちになって、うれいします。ずつとつづけていきたいな—とおもいます。

西粟倉村立西粟倉小学校 第一学年 横山 日菜さん

ぼくが本を読むとき

ぼくが本を読むとき。それは、夜ねる前のフワフワのふとんの上です。ようじをおえた母さんが、二かいのねるへやへやってくるまでは、自分の好きな本を読んでまち、母さんがやってくると、母さんのまわりをお兄ちゃんとおぼくともうと二人がかこみ、読み聞かせのはじまりです。母さんは女ゆうさんのように、やくになりきって読みます。男の人は男のこえで。ウザギはかわいく。おぼけは本当にこわいです。なん回も読んでいる本は、きょうだいみんなでこえを合わせて読んだりもします。読みおえたあとは、いつもポカポカのきもちになります。父さんはおしごとがあるので、たまにさんかします。本はかぞくみんなでいろんな世界へすぐにたびができて大すきです。

総社市立総社北小学校 第一学年 林 凌永さん

お母さんと私のふとん

私は、お母さんと毎日ふとんでねます。でも、お母さんにふとんを取られるので寒いです。でも、それをお母さんに言えません。理由は、私がねそらが悪いからです。お母さんをたまにけつたりすると、百倍の返しが来ます。でも、お母さんは、こわがりの私といつもねてくれます。うれしです。でも、私のふとんを取らなごねー!

勝央町立勝間田小学校 第四学年 岩谷 安佳里さん

ふんふんしき選手けん

ぼくのおばあちゃんは、いつもふんふんをじくタイムを計ってくれます。毎日計ってくれるので、毎日毎日早くしけるようにがんばっています。ぼくの最高記録は四秒です。次は三秒をめざしていきます。

真庭市立米来小学校 第四学年 間所 颯さん

愛情あふれる失敗談

ぼくが、三才か四才のとき、「お母さんがあらう物をして見たのを見て、ぼくが「お皿あらいたい。」と言ったらお母さんが「いそよ。」と言ってくれました。初めてなのでお母さんとうなりました。そしたらお皿をガチャーンとわってしまっって手をきってしまったりする失敗をしました。何回かしているうちになれてきて、お母さんに「お皿あらいね。」と言われうれしかったです。いまでは、一人であらう物ができるようになりました。



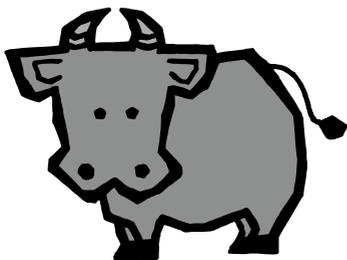
岡山市立幸島小学校 第四学年 河村 悠二さん

じいちゃんのがこした牛

じいちゃんは牛をのこしてなくなりました。その牛を家族みんなでかっています。牛のえさにするのに、はでばを作ってわらをとりまします。ぼくは、わらを運びました。牛のうんこ出しもします。近所のみんなは牛のえさの草をくれます。子牛が生まれる時は、助けてくれる人がいます。牛をかっていて牛のうんこを畑に入るとひりょうになるのがわかってよかったです。これから牛をかっていきたいです。

〔補足説明〕 じいちゃんは平成十八年に亡くなりました。牛は一頭です。

鏡野町立富小学校 第四学年 難波 幸永さん



むかしのあそび

お母さんが子供のころに、楽しかった遊びを教えてくださいました。

「むぶごん取り」「にらめっこ」「ハンカチ落とし」など、知らない遊びもあって、兄妹で大笑い。テレビやケータイゲームよりずっとずっとおもしろかったよ。

〔補足説明〕

おじいちゃんちに泊まりで行った時、いつもならテレビをつけてそれぞれに遊ぶのですが、昔、いとこたちと遊んだ遊びを一緒にやってみると子供達は大喜ぶ。テレビゲームよりおもしろいと言ってくれました。また、ころころと思いついて遊んでみよっと思えます。

井原市立高屋小学校 第四学年 佐藤 壮峻さん

みんなとタッチ！ 中村家

私の家族は、なんかてきとつに、なんでも『タッチ！』です。いつから始まったのかは分かりませんが、気のせいかな、心がスッキリします。子ども三姉妹みんなでおこられて、最後になきじゃくりながらも、両親はあたり前のように手を差し出します。しょうがなく「タッチ」と言いながらやります。する時は、意きしてないので、後ですっきりします。中村家はいつも笑顔です。やる前は、ムスっと顔。やった後はスッキリ笑顔これが中村家です。

岡山市立竜之口小学校 第五学年 中村 優那さん

ねない子だれだ

小さい頃からぼくの側にはいつも本がありました。寝る前には毎日、大好きな本「ねない子だれだ」をお父さん、お母さんに読んでもらっていました。ぼくには三歳の妹がいますが、今は妹が寝る前に本を読んであげることが日課です。妹が喜ぶ笑顔を見てると心がなごみ幸せな気分になります。

総社市立清音小学校 第六学年 横溝 秀明さん

早く家に帰りた

家にはおじいちゃんとおばあちゃん。帰ると「おかえり」とやさしい声。宿題したら、今度はぼくたちが待つばん。お母さんが帰って来る「おかえり」と今度はぼくたちのやさしい声を。最後は…お父さん「おかえり」と家族みんなのやさしい声。これからもやさしい声で言うてほしい「おかえり」と。

鏡野町立南小学校 第六学年 高橋 虎太郎さん



「ありがとう。」

私のお父さんとお母さんは、いい事をしたらほめてくれます。でも、悪い事をするとしかってくれます。私は、ただふつつの事だけど、それがうれしいです。おこられて「イライラ」するときもあるけど、そばにいらてくれなくていいと思います。ほめてくれるときは、とてもうれしくなります。

「がんばったね」とか「すごいね」とか、その言葉を言われると安心した気持ちになったり、「次は、もつとがんばるぞ」という気持ちになります。悲しいときも、うれしいときも、そばにいらてくれて「ありがとう。」

岡山市立芥子山小学校 第六学年 藤原 里美さん

わが家のお母さん

お母さんは僕が小さい頃に足を悪くし、ひざがほとんど曲がりません。なので、わが家では、家事を分担し、少しでもお母さんの負担を減らそうとてします。お母さんの

「ありがとう。」やっして良かったという気持ちになります。病気になっても、とても明るいお母さんは、ほらとて思っています。お母さん、がんばって。

岡山市立旭東中学校 第一学年 福森 琢未さん

わが家の家族会議

我が家は六人家族で、週に一回程度、食事の時間に家族会議をします。会社や学校でのエピソードなど、一週間の出来事を次々に発表していきます。

「それは、こうすればええんじゃない？」何があっても「大丈夫じゃけえ、思いきってやってみ」が我が家の口グセです。

さて、明日から、実践してみようかな。

今日の家族会議は、これにて終了です！

里庄町立里庄中学校 第二学年 福本 弥央さん

父の宝物

私の父は、娘よりも、自分で飼っている鳥に対する関心の方が強いです。先日、引越しをするために、父の荷物を小さいダンボールに入れて運んでいました。中身を見てみると、いくつかの鳥のフィギュアと、何枚ものチラシが入っていました。何のチラシだろう、とよく見てみると、下手な父の似顔絵が裏に描かれていました。それは、私が昔描いたものでした。なんだか嬉しくなりました。

県立岡山南高等学校 第二学年 横田 早紀さん

長女の受験

私は兄弟の中で一番上です。親にとつては、私がしていくことがすべて初めてです。高校進学のための受験。私が毎日そわそわしている、親はいつも落ちつかせるような言葉をかけてくれました。ですが、結果発表の日、一番そわそわしていたのは、両親でした。私がいつもとは反対に落ちつかせるような言葉をかけ、学校へ行きました。私は、わざと暗い顔をして帰ると両親は一瞬、声をかけるのをやめました。私が笑顔でひとこと「合格」というと、泣いて抱きついて、一緒に喜びました。いつも泣くことのない父が泣いていて、もらい泣きした私でした。

県立岡山南高等学校 第三学年 大森 ありすさん

いちごチョコレート

いつもあまり話さない、ひとつ下の弟。

「明日、就職試験？」

しばらくして「はい」と、私の好きないちごのチョコレート。

「俺のときにちゃんと返してよ。」

さうとした弟の言葉にやさしさを感じた。



県立岡山南高等学校 第三学年 大深 智恵さん

自分のじゅり

「ばあちゃんが倒れたって!？」
 「うん。母さん、ばあちゃんとか行くから。」
 そう言って、母さんは岡山から愛媛に行ってしまった。
 部活よりも優先して、家事は全部自分がやって過ごした。
 一週間たって、皆でお見舞いに行った。
 ばあちゃんが、
 「一週間も一人でようがんばったね。」
 顔がパンパンになってて、痛いのに心配してくれた。なげた。



県立岡山南高等学校 第二学年 藤原 有紀さん

今が一番幸せ

「今が一番幸せじゃ。」
 「今日も一日ありがとっ。」
 その祖母が毎日神様に言っていた言葉です。些細なことにも感謝の気持ちを忘れない人でした。
 その祖母がくれた素敵な言葉を胸に、私はこれからも前進します。「今が一番幸せ」と言えるよ
 うっ…。」



県立井原高等学校 第二学年 佐藤 静穂さん

一般の部



◆子ども叱るな来た道じゃ賞◆

子ども叱るな来た道じゃー！

母が「くなりタンスを整理していると、小四当時の作文が出てきた！
小二の息子に見せると、

「とーさん、字いきたねー。読めんがあー。四年のじゃろ。」

「……。」

口頃

「字がきたない。えんぴつちゃんと持って、ていねいに。」
と、叱るととーさんの面目丸つぶれ。

息子の大好きだったばあーちゃんの声が聞こえてくるようです。

「子ども叱るな来た道じゃ。年寄り嫌うな行く道じゃ。」
母の口ぐせでした。



岡山市 田中 達哉さん

審査員より

自分の子どもの頃のことと振り返ってみると、子どもへの声かけも変わってくるのかもしれませんが。時を超えて、ばあーちゃんの口ぐせが心に響いてきますね。

表彰状

誕生日でも母の日でもないのに、子供からの突然の表彰状。

「つかれていても家事などをしてくれる姿がとてもすばらしいです。あなたはほくたちのすてきなお母さんです。」という内容。びっくりしたのと同時にうれしくて顔がニヤけてしまいました。

子供はちゃんと見てくれてますね。もう疲れたなんて言ってられない。仕事と家事の両立、大変だけど大好きな家族のために、これからも頑張ります。



岡山市 片岡 淳子さん

おばあちゃん、ありがとうがっつ

私のおばあちゃんはいつも「ごっつも、ごっつもありがっつ。」が口ぐせです。私は、おばあちゃんその口ぐせがとっても大好きです。だから私も子供にお手伝いをお願いした時やうれしかった時には必ず「ありがとう。」「と言っています。

子供達も「ありがとう。」「ごっつも言っていますよ。」

「ごっつキレイになったと思わん、僕がしたんよ。」「ごっつも使えます。

何気ない一言だけで大切な言葉…ありがとう。おばあちゃんにはとっても感謝しています。おばあちゃんありがとう。いつまでも長生きしてね。

倉敷市 中岡 育恵さん

魔法の手

いつも元気な小二の長男が、珍しく高熱と嘔吐でぐったりし、人生初の点滴をしました。

その数週間後、今度は私が体調を崩し寝ていると、長男がそ〜と傍にきて、

「今度は、僕がお母さんを元気にしてあげる。」

と、小さな手で私の頭をなでてくれました。

病院の薬よりも、ずっとよく効く「魔法の手」みたいでした。



〔補足説明〕

夏休みに帰省し、海で泳ぎまくっていた長男が、翌日高熱と嘔吐で人生初の点滴をしてもらいました。一日中ぐったり寝ていて、私も傍らでとても心配しました。その数週間後、今度は夏の疲れか、私が三十八度以上の熱が出て、ご飯も食べずに布団にくるまって、電気を消して寝ていました。すると、そ〜と寝室の戸を開けて、長男が入ってきました。

「僕が熱が出たときは、お母さんが僕に元気をくれたから、今度は僕がお母さんにパワーをあげて、元気にしてあげる。」といって、親が子供をなでるように、私の頭をゆっくりなでてくださいました。ついこの前まで赤ちゃんだったような気がしますが、いつの間にか成長しているんだな…と感じました。小さな子供の手が自分の母親の手のような気がして、それだけで病気が治るような気がしました。

真庭市 須田 淳子さん



特別賞

◆特別賞◆

★ 優秀学校賞

県立井原高等学校家政科

(家庭科の年間指導計画に位置付けての取組に対して)

学校賞

県立岡山南高等学校

(生活創造科二年生の取組に対して)

岡山市立竜之口小学校

(多くの児童の応募に対して)

西栗倉村立西栗倉小学校

(多くの児童の応募に対して)



わが家を振り返って、エピソードをメモしておきましょう。

A decorative rectangular frame with a border of stars and hexagons. Inside the frame, there are six vertical dotted lines for writing.

発行・監修

おかやま子ども応援推進委員会
地域家庭教育推進部会



事務局 >>> 岡山県教育庁生涯学習課

〒700-8570 岡山市北区内山下 2-4-6

TEL (086) 226-7597



岡山県教育庁生涯学習課のホームページから、この冊子をダウンロードすることができます。



ホームページ 岡山県 生涯学習課 で 検索 クリック!